

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

あなたを包む、爽やかな光

躍動するリズムと喜びに満ちた美しいメロディ
ヴァイグレが振る華麗なる《イタリア》

世界の聴衆を魅了するドイツの名匠
セバスティアン・ヴァイグレ 読響常任指揮者
SEBASTIAN WEIGLE, Conductor

ヴァイグレが認めた期待の新星
小林 壺成 ヴァイオリン
ISSEI KOBAYASHI, Violin



モーツァルト：歌劇「魔笛」序曲
MOZART: "Die Zauberflöte" Overture

チャイコフスキー：
ヴァイオリン協奏曲ニ長調 作品35
TCHAIKOVSKY: Violin Concerto in D major, op. 35

メンデルスゾーン：「イタリア」
交響曲第4番 長調 作品90
MENDELSSOHN: Symphony No. 4 in A major, op. 90 "Italian"

読売日本交響楽団 第114回 みなとみらいホリデー名曲シリーズ

2019 9/14 土曜 14時
横浜みなとみらいホール
S ¥7,500 A ¥6,500 B ¥5,500 C ¥4,500
Yokohama Minato Mirai Holiday Popular Series No. 114
Sat. 14th Sep. 2019, 14:00 Yokohama Minato Mirai Hall
読響チケットセンター
0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)
<https://yomikyo.or.jp/>

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ
読売日本交響楽団
助成：文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会
協力：横浜みなとみらいホール
後援：横浜アーツフェスティバル実行委員会
(横浜音祭り2019パートナー事業)

爽快!

ヴァイグレのリズムが呼ぶ、 イタリアの風

Sebastian Weigle
Conductor

5月に好スタートを切った新任指揮者のセバスティアン・ヴァイグレが、9月にメンデルスゾーンの傑作交響曲〈イタリア〉など3つの名曲を取り上げる。横浜だけのオリジナル・プログラムだ。

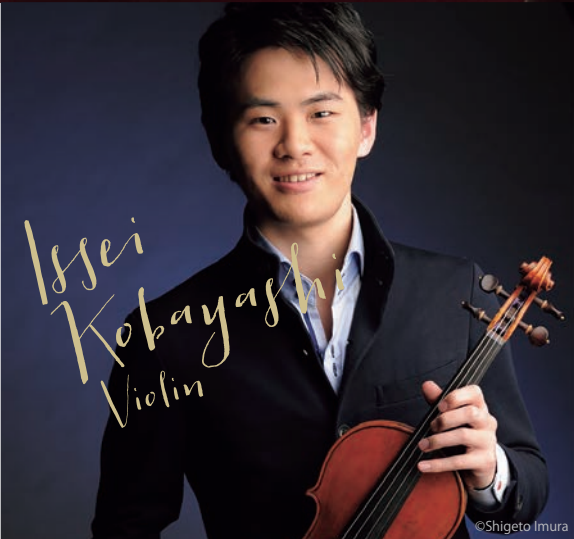
名門フランクフルト歌劇場の音楽総監督を務めるドイツの名匠ヴァイグレが、まずは1曲目のモーツァルトの歌劇〈魔笛〉序曲で、オペラ指揮者としての手腕を発揮する。この歌劇を100回以上も指揮しているヴァイグレは、モーツァルトのバラエティに富んだ喜怒哀楽の様々な表情を浮き彫りにする。

続いて演奏するチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲は、ヴァイオリン協奏曲の中でも人気の高い作品で、哀愁漂うメロディと畳み込むようなスリリングな展開が聴きどころだ。この曲でソリストを務めるのは、ベルリンを中心に活動する期待の新星・小林壱成。ヴァイグレは、ベルリンの音楽家仲間から紹介されて小林の存在を知った。彼の演奏を聴き、美しく特別な音色と有り余る才能に驚いたという。「レガートを駆使して、無限のフレージングを作

り出せるアーティスト」とヴァイグレが太鼓判を押す「イッセイ」の独奏にご注目いただきたい。

後半は、メンデルスゾーンの交響曲第4番〈イタリア〉を披露する。北ドイツ育ちのメンデルスゾーンが、イタリアを旅行した体験とその感動を込めた傑作だ。太陽の降り注ぐ明るく開放的な雰囲気、胸躍るような活力に満ちている。ヴァイグレは、選曲の理由を「ベートーヴェン、シューマン、ワーグナー、ブルックナーと続くドイツ音楽の中でも、メンデルスゾーンは重要な位置を占めるから」と打ち明けた。また、ヴァイグレは「この曲の舞踏性に満ちた軽やかなところが特に好きだ」という。それは、彼がオーケストラ作品を振る際、リズムを重要視することと共鳴する。ベルリン国立歌劇場の指揮者時代、数多くのバレエ作品を振り、ダンサーと仕事を重ねた経験が、彼のリズムに対する感性に磨きをかけた。それが今、オペラやシンフォニーにも活かしているのだ。今回、ヴァイグレのタクトは、澁刺としたリズムと息の長い旋律を生み出し、芸術の源泉であるイタリアの明るく澄んだ空気を横浜に届けることだろう。

©読響



Issei Kobayashi
Violin

©Shigeto Imura

ヴァイオリン 小林壱成

ヴァイグレに才能を認められた期待の新星。1994年生まれ。東京芸術大学大学院を経て、ドイツ・ベルリン芸術大学大学院に在学中。日本音楽コンクール第3位、ザルツブルク・モーツァルト国際室内楽コンクール第2位、青山音楽賞新人賞など受賞多数。東響、千葉響などと共演し、NYカーネギーホール、イタリア世界遺産テアトロオリンピコ・ヴィツェンツァ国際音楽祭、東京・春・音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、トランス・シベリア芸術祭などに出演。2014年にヴェンゲーロフとパッハの二重協奏曲のソリストを務め、絶賛された。レービン、ギトリスら巨匠とも共演を重ね、ラ・ルーチェ弦楽八重奏団やステラトリオのメンバーのほか、各楽団の客演コンサートマスターとして活躍している。今回が読響初登場。

読響常任指揮者 セバスティアン・ヴァイグレ

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン生まれ。1982年からベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。2003年にフランクフルト歌劇場でR.シュトラウス〈影のない女〉を振り、雑誌「オーバングェルト」の「年間最優秀指揮者」に選ばれた。04年から09年までバルセロナのリセウ大劇場の音楽総監督を務め、08年からフランクフルト歌劇場音楽総監督の任にある。同歌劇場は「オーバングェルト」の「年間最優秀オーケストラ」や「年間最優秀歌劇場」に輝くなど、その手腕は高く評価されている。パイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン放送響、ウィーン響などで活躍している。

読売日本交響楽団 第114回 みなとみらいホリデー名曲シリーズ

2019年 9月14日(土)14時開演

横浜みなとみらいホール

神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-6 Tel. 045-682-2020

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C **solpout**

●東急東横線直通・みなとみらい線「みなとみらい」駅 クイーンズスクエア横浜連絡口 徒歩3分
●JR京浜東北線・根岸線、横浜市営地下鉄「桜木町」駅 徒歩約10分からランドマークプラザ経由でクイーンズスクエア1階奥 徒歩12分

託児サービス 横浜みなとみらいホールでは「託児サービス」を提供しています。(株)明日香 0120-165-115 学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000